

2023年1月号

2023年2月28日発行

# NPO 法人わっか 月次報告書

# 44



## だれもが、まるごと受けとめられる社会をつくる

わっかは、だれもが、まるごと受けとめられる社会を目指して活動を行う団体です。

### 子どもを取り巻く環境について

子どもたちは、思うがままに過ごす時間や、まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。いまの子どもたちは、自分では変えることができない

社会環境や大人の意識の変化により「思うがまま」に過ごす時間や、

まるごと受けとめられる経験が少なくなっています。

大人の価値観による評価、他者との比較や数字で表せる結果で、

子どもの存在を条件付きで認める場ばかりになり、

さらには、地域社会においても、

その子のまるごとを受けとめてくれる存在も少なくなっています。

また、学校、学習塾、習い事、スポーツクラブで多忙な毎日を送り

仲間も時間も空間もなくなりつつあります。

「わっか」は、2014年3月から活動をおこなっています。

活動当初は、月に1回冒険遊び場を、びわ湖のほとりで行っていました。

そこに来てくださる方の声に応えたくて2015年7月から、古民家の開放をはじめました。

毎週月曜日の放課後、日曜日は月に1、2回開けることから始めた古民家開放は

わっかを通じて出会った人の声に応えるように、活動の幅を広げています。

毎週 水・木曜日 13:00 ~ 17:00  
金曜日 16:00 ~ 20:00

子ども 23 名 おとな 13 名

## 平日わっか

毎週火～金요일に開いている場です。参加費無料・申込不要。カリキュラムやプログラムは一切なしで、ただ開いている場です。そんな場所に集う人たちと、ゆったりとした時間を過ごしています。

### □最近のこと

金曜日のよるは、18時ごろから少しずつ人が集いはじめ19時半くらいまでそれぞれのタイミングで来ます。そこから、ご飯をたべたり、ゲームをしてすごしています。ごはんも、ときどき来てくれる人のリクエストを聞いて、それを作るようにしています。先日は、卵とじカツ丼で、その次は、焼き鳥丼でした。そうやって、誰かの食べたいに応えるのは、いいですね。

そして、終わる時間は20時と言っていますが、その時間に終わることはほとんどありません。終わる時間は、最後の人が帰る時間です。といっても、あまりに遅くなる時は、そろそろ閉めてもいい？みたいな話をします。

水・木も最近、下校中の子どもが、立ち寄るようになってきました。「おかしあるかー」といつものように叫ぶ子。あとは漫画に気づいて「また日曜日に読みにくるねー」と約束をしてくれる子もいます。「ぼくのこと覚えてる？」といつも聞いてくれる子。

一緒にすごす時間は短いけれど、こうやって彼らの日常のほんの一部にいられることが、うれしくあります。



写真は、そのリクエストのご飯をつくる前につくったパスタ。たくさん茹でるとなんだか幸せな気分になるのです。

第2、4日曜日 10:00 ~ 15:00

子ども 11名 おとな 4名

## 日ようわっか

第2、4日曜日のお昼に古民家を開放しています。お休みの日なので、ここに、くるのは小学校高学年までの親子連れが中心です。ときどき、遠くからふらっと寄ってくださる大人もいます。

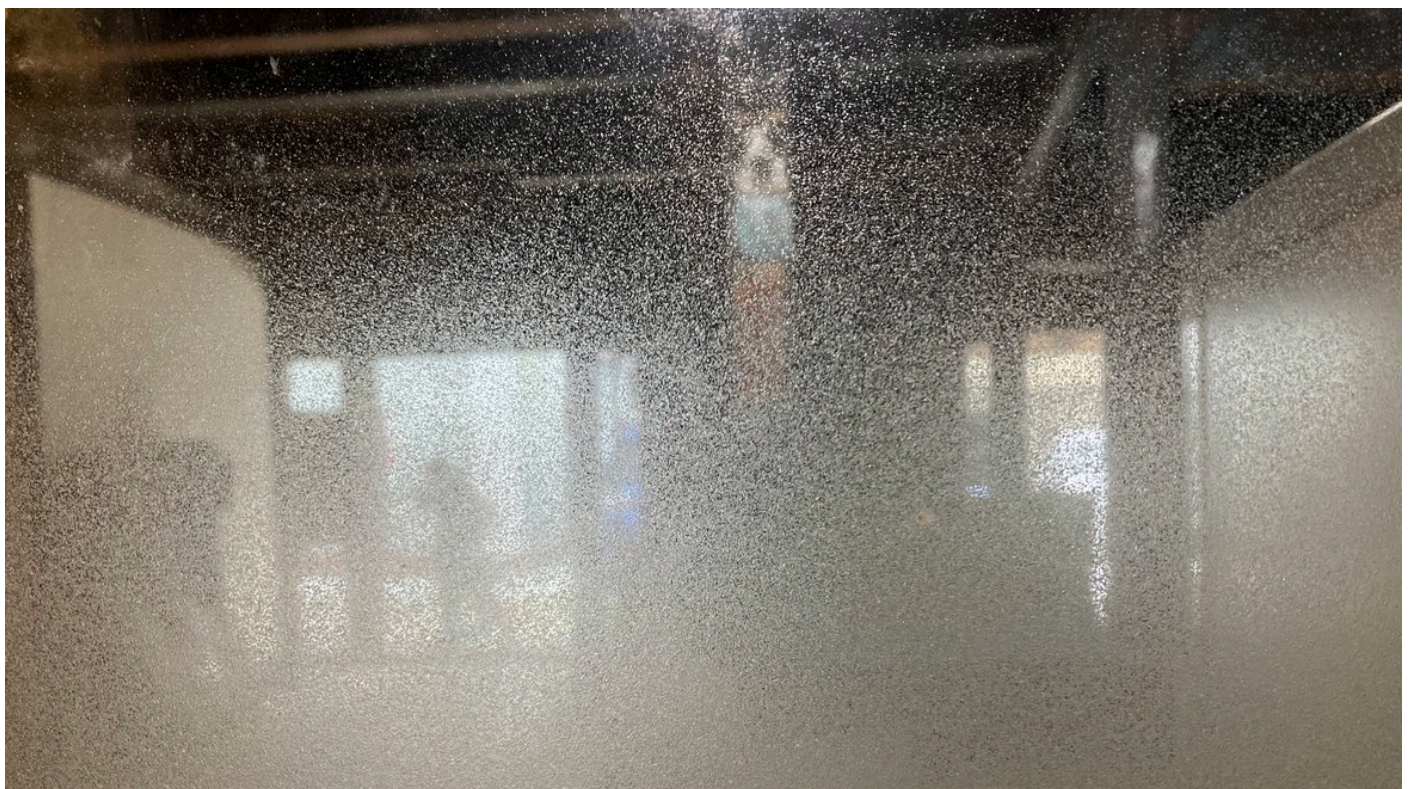
### □最近のこと

少しだけ、一時期よりも来る子たちが減っています。まあ、長いことしているとこういう時期は来るので、まあまたいつか来るようになるなあって思っています。みんな、それぞれ習い事や家族の用事があったりするんですね。でも、ときどきそれが無い時とか、学校で約束をして、来てくれることもあります。学校で日曜日に「わっかいこう」って誘っているのって、嬉しいです。

また、寒いので外を歩いている人も少ないです。春先暖かくなってくると、家族で自転車で行く人や、近所の方が歩いています。そういう人たちと挨拶をすると、一時期来てくれた人と再会したりもします。

平日もそうなんですけど、ここを開けていることしかできないんですよね。どういう場所かとか、そういうのは自分たち以外の方がそれぞれに思ってくれたらいいなとは思いますが、でもボクらは、できるだけ意味をもたせず開け続けています。

そういう開け方ができることは、とても恵まれたことだと思います。支えてくれる方々に本当に感謝しています。



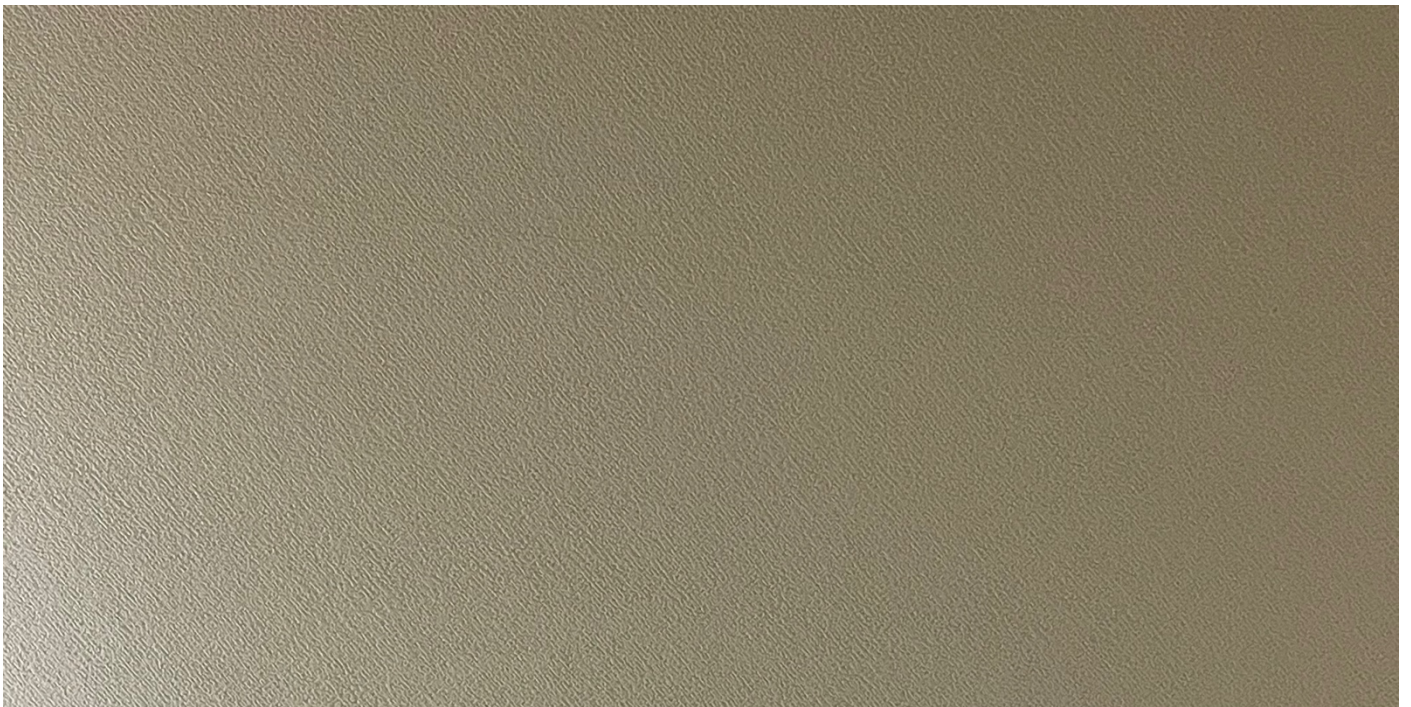
# なおえもんの日記

## 白い天井を見て思うこと なおえもん

自分の部屋の天井は真っ白で、ベッドで仰向けになって寝た時に、ボーッとしていると、色々なことが考えられるなと思った。

例えば、『今日こんなことあったね』『○○なことしてたね』と過去のことを振り返ることが出来るし、一方で『明日は○○があるね、楽しみだね』『○日はお出かけするね』と楽しみなことだが、未来を想像出来る。この文章を書いている時、ちょうどベッドのところにいるんだけど、『明日のことが楽しみだね』と想像しているのだ。何故って、友達が泊まりに来て、一緒にゲームなどをして遊べるからだ。

皆さんも過去を振り返る時、未来を想像する時があると思います。そんな時に特定の場所・空間・スペース・音楽・おとも(飲み物・グッズ・携帯 etc.)...自分以外に必要な何かが全員ではありませんが、皆さんの中にあるかもしれません。白い天井は自分にとって、良い空間となるのかもしれませんが、白い天井と向かい合わせになって、色々なことを想像していこうと思います。



なおえもんの見ている天井

## 2023年1月に頂いたご寄付

---

物品でのご寄付 **3**名（団体）

おかしや野菜をいただきました！

マンスリーサポーター **27**名

荒巻りか、大溪麻紀子、後藤基志、佐藤笑代、佐藤真紀、佐藤桃子、柴原隼、鈴木愛子、永峰美佳、西村、廣部  
奈緒美、藤澤彰祐、前田諭、マコトヤ、南出吉祥、三輪恵美、吉田尚子、安田寿彦

（敬称略）

都度ご寄付 **0**名

助成・補助団体、応援企業 **5**団体（2022年度）

米原市、独立行政法人 福祉医療機構、タノシニア合同会社、マコトヤ、紙 eco（敬称略 2022.12.31 現在）

SNSもよかったら、覗いてみてください。日々の様子や、古民家を開ける日などを載せています。

Facebook		こどもと大人の居場所 わっか
Twitter		アカウント名 @NpoWacca
Instagram		アカウント名 @npo_wacca